

中小企業 診断士による 経営 Q&A

Q 当社では最近、補助金申請や金融機関等の融資申請を考えています。その際に「市場動向は? 裏付けとなる根拠が必要」などと言われます。業界を熟知している当社にとって、相手により深く納得してもらう方法はな
いでしょうか。

です。また、別の視点や方向性から確認されていないこともあり、その場合は将来の種をつぶしかねず、大変もつたいないことになります。さらには、市場動向などを多角的に調査し直す」とは、自社にとつて新たな情報を得られる可能性があり、これらが不確実な時代を進むための経営の手法などがあります。

この点では、情報検索の基本的なウェブサイト2件を紹介します。**①**国立国会図書館ウェブサイト「産業情報ガイド」には、最新の業界動向などの情報源を紹介し、最初の手掛かりになるので大変便利です。

②政府統計の総合窓口ウェブサイト「e-Stat」は、

ると思ひます。たゞ、熟知するからこそ誰でも分かるよう

A 業界の中にいる企業にとっては、そのような問い合わせには、専門外なので言語化や数値化がされないことが多い。外に感じることもある

羅針盤にもなり得ます。では、どうしたらそのような根拠となる価値のある情報を得られるのでしょうか。一般的に、求める情報を入手するために、は、仮説を立て、立証した上で情報を探す方法や、業界動向を調査し直し、会社に合ったトピックスとなる情報を探

日本の政府統計のサイトであり、利用ガイドにある「統計データFAQ」では探したい統計を検索できます。しかし

の（コピー代など一部実費負担あり）。同様のサービスを扱っている県内の他の図書館の情報については、同館にお問い合わせください。県外については、ビジネス支援図書館推進協議会のウェブサイトをご覧ください。

最後に、集めた情報を分析

情報検索力、分析力が強みに

こともあるのではないかでしょ
うか。第三者からすると、ど
うか。自分自身がいつ、いつ段
り、その場合は将来の重

す方法などがあります。

関を紹介します。県内では、埼玉県立熊谷図書館などが「ビジネス支援サービス」を扱っており、企業の大きな味

じしや。また県内には埼玉
県がねむ支援拠点ひの相談
窓口ねありますのじやうじ活
用いよる。

による

します。①国立国会図書館ウ
エブサイト「産業情報ガイド」
は、最新の業界動向をう

扱つております。企業の大きな味
方にになります。

用いたり。
(中小企業診断士・松下か
おの)

には、市場動向などを多角的に調査し直すことは、自社にとつて新たな情報を得得られる

は最新の業界動向などの情報源を紹介し、最初の手掛かりになるので大変便利です。

ビジネス支援サービスとは、ビジネスに関する調査・相談、経営関連情報など商用データベースの利用、専門

新規
登録

中小診経

りになるので大変便利です。
②政府統計の総合窓口ウェブ
サイト「e-Stat」は、

・相談、経営関連情報など、商用データベースの利用、専門書等を無償で利用提供するも

連絡先・一般社団法人埼玉県中小企業診断協会(☎048・762・3335)